

令和 8 年度 大学院 保健医療学研究科

修士課程入学試験 I 期

救急災害医療学コース

専 門 科 目

全選抜共通

受験番号

自身の受験番号を必ず記載してください。

【注意事項】

1. 解答は指定された解答用紙に記入してください。
2. 解答用紙には、受験番号、氏名を記入してください。
3. 問題用紙及び解答用紙は、全て提出してください。

令和 8 年度 大学院 保健医療学研究科

救急災害医療学コース

修士課程 入学試験 I 期 専門科目

問題.

熱中症 (Heat Stroke, HS) は、体温産生と放散のバランスが破綻し、中枢神経症状を伴う高体温を呈する生命に直結する緊急疾患である。主に高温環境での曝露や激しい運動により発症し、 40.5°C を超える深部体温が特徴とされる。米国では年間約 8251 件の救急受診が報告され、入院率は 54.6%、院内死亡率は 3.5% とされるが、院外死亡や見逃し症例を含まないため実際の負担はさらに大きいと考えられる。

近年、気候変動の影響により高齢者を中心とした熱関連死亡は急増しており、過去 20 年間で 65 歳以上の熱関連死亡は約 68% 増加、世界の熱関連死亡の 3 分の 1 以上は気候変動に起因すると推定されている。2018 年には約 29.6 万人、2022 年のヨーロッパでは約 6 万人以上の熱関連死亡が報告された。日本においても高齢化が進行する中で、公衆衛生上の脅威として深刻さを増している。熱中症 (Heat Stroke) の公衆衛生上の脅威と、その予防・対策を社会全体でどのように進めるべきかについて、あなたの意見を 800 字以内で述べなさい。